

6-9

介護現場における品質マネジメントシステムの活用

PDCA サイクル ～速やかな目標達成のために～

ケアの質の向上

個別ケア

特別養護老人ホーム 王子光照苑

介護職員・白石 啓高

東京都北区王子3-3-1

TEL 03-3927-9851

E-mail takahashi@o-kousyoen.com

FAX 03-3927-9835

URL <http://www.o-kousyoen.com>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

王子光照苑は、昭和63年11月に開設し、質の高い介護サービスを目指し、平成14年に東京都23区内の特養としては初めて、国際品質標準規格である「ISO9001」の認証を取得しました。特養50床、短期入所2床、在宅通常規模型25名、認知症型12名(1日定員)、その他、支援センターや訪問介護事業も併設している、高齢者総合福祉施設です。

〈取り組んだ課題〉

- 計画に基づいたPDCAサイクルの有効的な回転
- 改善の機会を適切に捉え、速やかに目標達成を図る

〈具体的な取り組み〉

- ある利用者に対するケアについて、現状の実行状況を例にケーススタディを行う。
- 問題点の認識
 - ケアの目的が明確化されていない
→目的と手段を混同
 - 分析に必要な記録が残っていない
→観察のポイントがあやふや

〈活動の成果と評価〉

- 担当介護職員からの情報発信の増化
- 観察ポイントを明確化
- 記録の充実(科学的根拠)
- 得られた情報を分析し、改善の提案が増える
- PDCAサイクルが適切に回転し、目標達成へ前進できる。
- 担当介護職員が分析ツールを得ることで、今何をすべきかが整理され、目標達成に向けてリーダーシップを取れるようになる。
- 様々なアプローチが行われることで、利用者への理解が深まる。

〈今後の課題〉

- 潜在的ニーズをいかに捉えていくか
→ICFツールの視点とアセスメントとの連動

〈参考資料など〉